



都城高専における地域社会貢献と高専教育の融合

-グローバル農工学教育研究センターの新設と目的-

都城高専 グローバル農工学教育研究センター：高木夏樹・高橋明宏、地域連携テクノセンター：佐藤浅次

取組の目的

今後の地域ニーズに基づく課題（農業等）の解決および地域貢献のため、**国際性および社会実装力を身に付けた創造性豊かな高度エンジニアの育成**を可能にする教育システムの開発を図る。

取組内容

平成29年度、**グローバル農工学教育研究センター**を立ち上げ、以下の事業等に取り組み、成果指標の達成を目指す。

- ① 学科共通教育の実施・検討、アグリエンジニアリングに関する授業/実験/実習の実施に向けた環境の整備
- ② 地元産官学組織と連携した共同教育/実験/実習/卒業研究等の実施・検討
- ③ アジア地域の高等教育機関との国際連携事業の実施に向けた検討

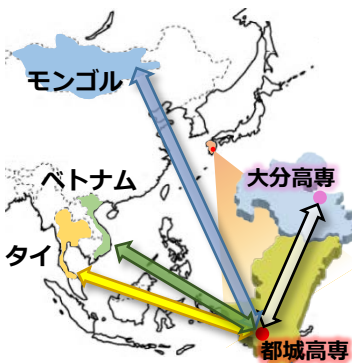
- ・共同(遠隔)授業/実験/実習
- ・卒業/特別研究
- ・PROG試験

- ・農学概論
- ・地球環境学
- ・生物生産実験
- ・植物工場の見学・実習

海外との連携による国際的教育

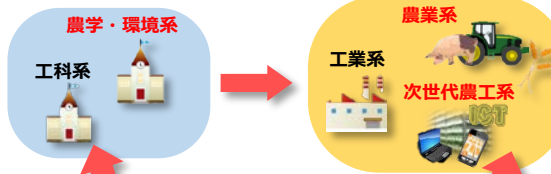
アジア・アグリエンジニアリング教育構想

高専機構リエゾンオフィスの重点活用



- ・共同遠隔授業/実験
- ・インターンシップ
- ・講師派遣
- ・学生交流・留学
- ・国際シンポジウム
- ・その他の国際活動

大学（国内/海外） 企業（国内/海外）



本校が育成する学生像

国際性・社会実装力の養成

地域社会の意向や問題点を課題として取り入れ、その解決策を学生自身が探り対応する



国際的教育

データサイエンス

基礎工学教育

アグリエンジニアリング教育

グローバル農工学研究教育センター 都城高専

地元地域社会との連携による社会実装型教育



成果指標

今後の目標

① 国際化ならびにアグリエンジニアリング・社会実装に関する授業科目の整備に向けた学内外共同教材開発・研究件数

② 国際交流活動への学生の参加人数

③ 農業/社会実装に関する共同研究の件数

H28年度

H29年度

H30年度

4件

16件

26件

50人※

150人

230人

1件

4件

7件